

序

東京都健康安全研究センターは、都の地方衛生研究所として「都民の生命と健康を守るための科学的・技術的な拠点機能」を発揮することが求められており、感染症のまん延防止や食品、飲用水、医薬品及び生活環境等の安全確保のための試験検査を行っています。また、試験検査に加えて食品や環境、医薬品の監視指導等も行っています。

当センターがこれらの役割をより一層強化していくためには、平常時から試験検査を高い精度で保つだけでなく、新たな検査法を効率性や迅速性に開発するための研究を継続的に行うことが重要です。さらに、都民の健康に影響する未知の脅威に対しては、早期発見のための迅速な検査体制構築と、予防に資する情報発信等の取り組みも併せて行う必要があります。

第76号研究年報は、現在、地方衛生研究所に求められている様々な役割を踏まえ、令和6年度に実施した当センターの研究成果をまとめたものです。本号年報では、総説「東京都における水道水質検査精度管理事業への取り組み（平成24年度～令和6年度）」をはじめ、感染症に関する原著・資料を含む、5分野全29題の論文を掲載しています。加えて、研究年報の価値を一層高めるために一部論文については外部専門家による内容の評価を行うとともに、編集委員会で迅速に情報を提供すべきと判断した報告は本誌発行前にホームページ上で早期公開を行っています。

このような研究の成果は、当センターの財産であると同時に、関係機関の皆さまにとっても有用な情報になると自負しております。あわせて、本報告に収載された研究成果は、どなたでも参照できるように、本冊子のほか当センターのホームページ上でも公表しています。関係者の皆様には、是非、我々の成果をご活用いただくとともに、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

今後も、当センターは課せられた課題の解決に取り組みつつ、研究を積み重ねることで、東京都の危機管理対応力の向上に取り組んでまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

令和8年2月

東京都健康安全研究センター所長
吉村 和久

